サイボウズ株式会社 最高経営責任者 高須賀 宣 最高技術責任者 畑 慎也 最高執行責任者 青野 慶久 最高財務責任者 山田 理

サイボウズ株式会社、Webグループウエア 「サイボウズ AG(エージー)」を 2002年前半に発売 ~ 導入実績 11,000社 14,000部門の「サイボウズ Office」の 新バージョンは、コンセプトから大きく変わります ~

サイボウズ株式会社(東京都文京区 最高経営責任者 高須賀 宣)は、主力製品「サイボウズ Office」シリーズの次期バージョン「サイボウズ AG」の製品名を発表いたします。"AG(エージー)"という名前は、エージェントを短縮したもので、当社の意味する「エージェント」の概念は、インターネット/イントラネットの膨大な情報の中から、業務上必要とする情報を「個人」に応じて提供していくことを指します。

これまで「サイボウズ Office」シリーズは、日々発生する揮発情報を共有するグループウエアソフトとして11,000社 14,000部門の企業に導入されてきました。(2001年11月末現在)「サイボウズ AG」では、単純な情報共有から一歩概念を進め「機械で代替できる雑用を減らし、代替できない知的生産性を向上させる」ことに主眼を置きました。そのために、「個人」に焦点をあて「個人が必要な情報を効率よく扱う」ことを可能とする製品を目指して企画・開発を進めています。

「サイボウズ ワークフロー 4」、「サイボウズ プロジェクト管理 4」、「サイボウズ シンク 4」、「サイボウズ ケータイ 4」、「サイボウズ ポケット 4」も新バージョン の開発を行っています。

また、「サイボウズ AG」では、アプリケーションを目的ごとに統合するので更にシンプルさを実現します。「サイボウズ AG」を使うことで、ユーザーは目的別にそれぞれのアプリケーションに情報を取りに行くのではなく、目的に応じて必要な情報を入手することができるようになります。

ポイントは以下のとおりです。

■ 目的に応じてアプリケーションを統合

「サイボウズ AG」は、「サイボウズ Office」シリーズで実現されていたシンプルで利便性の高い機能群を更に使いやすく統合しています。

■ 大規模向けグループウエアとの連携

2002年の中頃に発売を予定している「大規模向けグループウエア」にアップグレードすることが可能です。これにより、今までのようにユーザー数の制限を気にする必要が無くなり、全社のユーザー情報を統合して管理することも可能になります。

※「大規模向けグループウエアの開発に着手」のニュースリリース(2001年10月15日発表)は末尾の URL をご参照ください。

■ インターネット連携も強化

業務を行う上で必要なインターネットのコンテンツ(路線検索、地図検索、天気予報配信、企業情報等々)を用意しています。これらをスケジュールやアドレスの登録時に取り込むことが可能になります。これにより、ユーザーは社内・社外の区別なく目的に応じて必要な情報を適宜入手することが可能となります。

■ 発売日および価格

価格:未定

※「サイボウズ Office」ユーザーへの優待価格制度を用意する予定

発売日:2002年 第2四半期

■「大規模向けグループウエアの開発に着手」のニュースリリース http://cybozu.co.jp/company/news/20011013.html

※ サイボウズ、Cybozuはサイボウズ株式会社の登録商標です。

《本件に関するお問い合わせ先》

サイボウズ株式会社 http://cybozu.co.jp/

〒112-0004

東京都文京区後楽1-4-14後楽森ビル18階

マーケティング部 広報グループ 久保田美香子 ad@cybozu.co.jp

本日(12月11日)配信のニュースリリースにおいて以下の訂正箇所がございました。 深くお詫び申し上げます。

なお、上記本文中では、内容を訂正したものを掲載いたしました。

誤:

■ 大規模向けグループウエアとの連携

2002年の中頃に発売を予定している「大規模向けグループウエア」のフロントエンドとして使うことが可能です。これにより、今までのようにユーザー数の制限を気にする必要が無くなり、全社のユーザー情報を統合して管理することも可能になります。

正:

■ 大規模向けグループウエアへの発展

2002年の中頃に発売を予定している「大規模向けグループウエア」にアップグレードすることが可能です。これにより、今までのようにユーザー数の制限を気にする必要が無くなり、全社のユーザー情報を統合して管理することも可能になります。